

「高野口中学校を街中へ移転することを希望する署名」に関するお礼とご報告

「高中を街中へ運動」に、ご協力、応援くださった皆様に、厚くお礼申し上げます。
7月からスタートした署名運動は、10月末日で8403筆が集まりました。
11月11日に平木市長へ要望書と共に、皆様から託していただいた署名を提出いたしました。

要望書では下記の2点を要望しました。

① 高野口中学校の街中への移転の確約

市長より高野口中学校を安全な街中へと移転することの確約をいただきました。

② 公募で集めた市民を含めた検討委員会の立ち上げ

「10月1日よりプロジェクトチーム立ち上げ、教育部長を中心に一丸となって動いている。この高野口中学校の移転(移築)は行政の仕事として、法律的な問題をクリアにしたうえで場所を選定しなければならない。場所を選定したうえで、高野口小学校、応其小学校のPTAや、高野口の住民を含めた検討委員会を立ち上げます。その時にはどのような特色ある学校を作るのか一緒に考えていただきたい。」と、市長のお言葉をいただきました。

高野口中学校は5年を目途に、現在の場所より安全な街中へ移転されることになりました。年々減りゆく中学生が、安心して安全に通学できる未来がくることを、心から嬉しく思います。それと同時に、地域の皆様にとっても避難所の問題が解決されること、地域が活性化されることを期待しています。

移転先については、市のプロジェクトチームが検討を重ねてくださっています。然るべきタイミングで検討委員会のメンバーが、公募される予定ですので、その際には是非応募いただき、市に任せっぱなしの「学校づくり」ではなく、市と住民が共に「新しい学校」をつくっていただけることを願っています。

今後も高野口中学校の移転について関心を持ち、見守っていただきますようお願いいたします。

私たちの短期目標「高野口中学校の同じ場所での建て替えに反対し、街中への建て替えに賛同する署名を集めて市長に提出すること」を達成し、長期目標「高野口中学校の街中への移転を実現すること」も、市長より確約をいただいたことによって、達成されたと考えます。

皆様の貴重なお時間を未来の子どもたち、市民のために使ってください、心より感謝申し上げます。本来であれば、お一人お一人に直接お礼を申し上げなければなりません。文章にて報告させていただくことをお許しく下さい。

2024年11月吉日

高野口中学校を街中へ！の会
代表 向 律子 ・ 木村 譲治

